



## 「日中一時支援」と「児童デイサービス」の各事業の目的の違いとは？

- 日中一時支援（レスパイト目的）  
障がい者（児）の日中における活動の場を確保し、家庭の就労支援及び一時的な負担軽減を図る。
- 児童デイサービス（本人の療育目的）＜送迎あり＞  
障がい児の日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行う。

そこで、現在箕面市にはない児童デイサービスの見学とお話を伺って来ました。

## 《 NPO 法人 ハニー・ビー マイ児童デイサービス（豊中市曾根西町） 》

サービス管理責任者 副理事長 清成由美さん

- ◎ 利用者数・年齢  
約70名登録・18歳まで
- ◎ 定員・スタッフ  
基本：1日 10名 に対してスタッフ2名  
マイ児童デイサービス：月平均1日利用人数 12.5名（最大15名）  
スタッフ5~6名
- ◎ 受給者証が必要？  
児童デイは療育手帳がなくても受給者証が取得できる場合もある。
- ◎ 利用料金  
各家庭によって負担上限月額が異なり、それ以上の負担はない。  
（上限額の平均は4,600円位。学校への送迎代、おやつ代等は別途必要。）
- ◎ 利用にあたっての優先順位について
  - ・子どもの状況、必要性を重視している。（1人に出来ない等）
  - ・親が仕事をしているという理由は優先していない。
  - ・毎月15日までに希望を出してもらい、調整する。
  - ・現在待機の状態もあり、月1~2回の方、必要に応じては週2~3回の方もおられるが、月5~6回は利用出来る様にしている。
- ◎ 送迎について
  - ・学校へのお迎えは150円車を2台利用して、利用者の利用日を同じ方角にまとめられると、時間の削減もできるがなかなか難しく、日によっては道路も混み、送迎車が戻ってくることに2時間位かかることもある。

◎ おやつ

1回 100円

- ・好きな物を選ぶという方法はとっていない。でも、嫌なものを無理に食べさせることはしないで、こだわりの強い子には少しずつ変えていけるように歩みよる。
- ・ジャンクフード（スナック菓子）は出さない。
- ・手作りクッキーを取り寄せたり、皆でおやつを作ることもある。

◎ 1日の流れ、プログラムは

- ・全体が揃うのが3時30分頃で、最初にキャンドルに灯をともし挨拶をします。（気持ちが落ち着くので）
  - ・将来に向けて、個々の課題を見つけ取り組んでいます。
  - ・ダンスやストレッチをしたり、ボールで遊んだりしています。
  - ・気候の良い時には散歩に出かけることもあります。
  - ・時にはみんなでおやつを作ります。
  - ・夏休みなどに作品を作ることもあり材料費が必要な事もあります。
- \* 年齢を超えた縦の繋がりも大事にしています。

◎ 困っていること

仕方がない事だが急なキャンセルがでると、人件費が無駄になること。

◎ その他

- ・月～金曜日は児童デイサービス。  
土、日曜日は移動支援。居宅支援もしている。
- ・長期休暇も開所時間は同じく13時～17時。
- ・マイ児童デイサービス ニュースレター等を発行している。
- ・「託児所」「一時預かり」ではなく、もちろんレスパイトの意味もあるが、学校や家庭で積み残した個々の課題を取り入れた「療育」も行い、「就労支援」に結び付けたい。
- ・肉体精神の発達を支援して長いスパンで見ることが出来る。
- ・集団の中で役割が認められ存在が認められて自信をつけていく。
- ・7歳～14歳の思春期までの教育の重要性、親ではない大人のかかわり、学校ではないもう一つの場所の必要性を感じてもらいたい。

最後にお話を伺った清成さんより

どの人も皆（大人も子どもも、障がいの有る無しに関らず）ありのままの自分が理解され受け入れられていると感じることがとても大切です。そのように受け止めてくれる人がいることは、どんな薬や医療よりも有効に働きかけます。そのような存在になれるようスタッフ一同励んでいます。

スマイルシードって何??何者??  
と思われた方は、スマイルシードのHPを是非  
ご覧下さい。本日、一緒に配布させて頂きました  
チラシに、アドレスを載せています。